

進路部だより

【2016-2号】



2016. 4. 28.

あれよあれよと4月も終わりに近づき、いつの間にか、大型連休が目前となりました。地区総体が近づいてきたこともあり、各運動部は3年生を中心に放課後の練習に、いつにも増して、熱が入ってきてるように感じます。また、昼休みになると生徒会の2・3年たちによる熱のこもった1年生の応援指導と校歌指導がはじまり、学校全体がにわかに活気づいているようにも思えます。

さて、そんなさなか、毎朝校門前での挨拶にも元気に挨拶を交わす生徒が昨年よりも多くなっているようでもあります。その反面、スカートなどの服装を注意され、その場では直すけど、その場から離れるとまた元にもどそうとする生徒たちも各学年にちらほら。とても残念に思います。だれのための何のための指導なのか、あらためて考えて頂きたい、今回は服装・身だしなみの重要性について考えてみたいと思います。

◆企業が求める人材＝ルールを守れる人

それぞれの会社には、それぞれのルールがあります。会社が、全然知らない高校生を採用しようとする時、その人物が信頼に値する人物なのかを様々な角度から見極めようとします。当然、会社に迷惑をかけるような人物は採用したくありません。始業時間によく遅刻する人やよく会社を休む人(＝時間を守れない人)や、自分勝手に物事を判断し重大な事故を引き起こす可能性のある人(＝ルールや規律を守れない人)は、どの会社でも絶対に採用したくありません。

では、どうやって信頼できる人材を見極めようとするか。。。

「時間を守れる人なのか」は、学校での遅刻や欠席の回数で判断します。

「忍耐力のある人なのか」は、部活動を3年間まじめに取り組んだのかで判断します。

「ルール・規律を守れる人なのか」は、面接での服装・頭髮などの身だしなみで判断します。

さて、なぜ「ルールを守れるかどうか」をその人の身だしなみで判断するのでしょうか？

制服をだらしなく着る人(腰パンやだぶだぶのズボン、短すぎるスカート、ネクタイやリボンをしっかりつけない、など)、髪を染色したり、ピアスをつけてる人は、「ルールを守れない人」として評価されます。なぜなら、各会社の人事担当は、学校の校則を理解しており、県内の高校で茶髪やピアスを許可している学校などほとんどないことを知っているからです。学校の校則すら守れない人が会社の様々な規律を守れるはずがない、つまり、信用できない、と考えます。制服をだらしなく着る人は、きつとうちの会社の制服もだらしなく着る。工場内でだらしない服装で働いている人がいる職場へ、外部から大事なお客さんが視察にきたら、その会社全体のイメージダウンにもつながるからです。

◆身だしなみ～その場で直せるものと直せないもの

企業が嫌う身なりは、①金髪・茶髪、②ピアス、③腰パン・短いスカート、④ネクタイ・リボンのゆるみ、⑤装飾品 です。

このうち、⑤よく女子が身につけている指輪やネックレスは、面接で大きなマイナスポイントになりますが、当日、はずして行けば問題ありません。④のネクタイ・リボンやシャツを第1ボタンまでしっかりしめることも、当日注意すれば良い事です。

一方、①の金髪・茶髪はその場では直せません。前もって染め直していかないといけません。②のピアスをもっと問題です。ピアスをとっただけでは穴が見えるからです。ピアスの穴だけで就職試験が落ちることは珍しくありません。穴がふさがるまで、しばらく時間がかかりますので、これもその場で直せないものとなります。

さて、③は、どちらでしょうか？腰パンは、当日あげればいい。スカートは腰で巻いてる分をさげればいい。そう考えれば、その場で直せるものとして問題にならなそうですが、そうはいかないのです。

ある企業の採用担当の人は、「面接で、入室してきて、最初の3秒でだいたいその人の普段の身だしなみがわかる」と言っていました。なぜなら、普段から腰パンをずっとしているズボンを普通の状態にあげると、ひざの折れ曲がり部分にズレがあるのでよくわかるという事でした。女子のスカートも同じです。普段から腰で何重にも巻いて短くしていると、普通の状態にもどすと腰の部分に不自然な折り目ができてしまい、よくわかると言っていました。これらは、アイロンをかけてもなかなか直りません。

普段の着こなしがそのまま制服に消えない跡をつけてしまうのです。

◆3年生諸君へ

[1]身なりをしっかり!

さっき、述べた通りです。

常日頃、先生方が口すっぱく言っている容儀指導は、この日のためにあると思ってください。

競う相手は他校の生徒であり、合否を決めるのは、自分を知らない大人たちです。しかし、就職試験本番、AO入試本番、競争相手は同じ高校3年生です。ほんのわずかな差で、合否がわかれます。

悔いの残らないよう万全な態勢で本番に臨めるためにも、今から身なりを整えて生活しましょう。

[2]遅刻・早退・欠席を減らそう

どこの企業や学校でも、欠席・遅刻・早退の数は、とても気にします。ほとんどの企業では、「3年間通して欠席日数は10日未満が望ましい」と、よく言われます。では、もうすでに10日以上休んじゃった人は、まるっきりチャンスがないのか?そういうわけでもありません。勿論、トータルの数が少なければそれだけチャンスも広がりますが、1~2年で休んでしまっても、3年で欠席・遅刻・早退が限りなく0であるなら、うちの会社でがんばっていき「可能性」を見せることができるし、そこにチャンスがあります。まずは、今からでも欠席・遅刻・早退をしないようにがんばりましょう。

[3]成績を伸ばそう

就職試験は9月16日からスタートします。専門学校は10月から応募開始になります。大学・短大の推薦入試は、11月から応募開始になります。

それぞれどこに応募する場合でも学校から「調査書」というみなさんの学校での生活などを記録した書類を同封しなければなりません。その中には、当然1~3年までの成績も記載されるわけですが、3年の部分は、応募までに実施された定期考査の成績がそのまま3年の評価として記載されます。

9~10月にある就職や専門学校の応募書類では6月に行われた第1回考査の成績がそのまま3年の評価として載ることになります。ですから、6月の第1回考査は、みなさんの命運をかけた大事な大事な考査です。全力で臨んでください。万が一、この考査で赤点をとるということは、赤点を解消するための追指導を7月に受けることになります。本来、この7月は、求人票をみたり就職応募先を決める大事な時期なのですが、追指導に気持ちも時間もとられて、本来やるべきことに集中できなくなり、一番大事な時期に大きなマイナスになってしまいます。

第1回考査は絶対に欠点を取らないようにしっかり授業に臨んで下さい!

[4]進路達成は団体戦!

進学でも就職でも、自分の進路を決定させるためには、いろいろ準備しなくちゃいけません。勉強したり、面接練習したり、いろいろ調べ物したり。。そうやって自ら行動しなくちゃいけない時に一番大事なものがまわりの雰囲気です。全体の雰囲気がのんびりしてて「まだいいや。。。」なんて感じだと、自分もなかなか行動に移れません。進路を決めていくのは自分の力なので個人戦だと思われがちですが、本番までにどれだけの準備ができていくかは、**集団の力**が大事です。

みんな進路が決まって、来年の春には、みんな笑顔で卒業してもらいたいですね。

◆1・2年生諸君へ

外から見た**岩出山高校のイメージ**は、実は1・2年生の**校外での日頃の振る舞い**で決まります。そこでできあがったイメージをもとに3年生の進路が決まります。そして、3年生が切り開いた実績で岩出山高校は再評価され、あとに続く君たちの進路の可能性が広がっていくのです。

進路達成は岩出山高校全体の総力戦です。先生たちは常に皆さんを応援しており、だからこそ注意もします。ぜひ、みなさんのご協力をお願いします!

